

宮崎の雇用条件向上が急務

「雇用の劣化」を是正し、安定した暮らしの実現を

子どもにも優しい社会を

岩切たつや

県議会 便り

2016年7月

発行

岩切たつや

住所

宮崎市広島二丁目2-19

ノバハイツ402

電話0985-89-5158

fax 0985-86-8778



6月6日から23日まで開かれた定例議会。熊本震災に対応した観光振興など補正予算や、条例改正が審議されました。私は、一般質問二日目に登壇しました。

「雇用の劣化」が様々な問題の背景になっていることや、介護や保育の現場で働く皆さんの労働条件など、県民の福祉を向上させるための施策について、質問を行いました。

私は、派遣労働や、臨時・非常勤など雇用制度が悪化し、一生懸命働いても、そこで得られる収入では、十分な暮らしが営めず、そんなストレスが、虐待や、貧困の原因ではないかと質問しました。県は、「非正規雇用が約4割に達している現状をふまえて、正規労働への転換や待遇改善を経済団体へ働きかけていく」と答弁。

知事自身は、「雇用の安定が図られ、女性、高齢者、障

だと回答がありました。

アベノミクスの失敗

お金を多くもつ皆さんが、さらに多くの収入を得るような政策が続いています。でも、そんなことをしても、現場で働く皆さんには、影響が及ぶことがない経済の仕組みができています。

拡大する貧困の問題、増加する非正規雇用、地震など突如の災害や病气、けがなど思いつきも寄りない失業で、働く人の生活が簡単に壊れてしまふ、そんな綱渡りのような生



安心社会の実現を

活実態があります。そんな生活ではなく、雇用のあり方を是正し、人間らしく仕事をし、ともに生活できる賃金が得られ、多少の蓄えもできる、そんな当たり前の社会を作ることが、貧困など多くの社会の課題解決につながるかと訴えました。

座談会の機会を

ただだけませんか？

県政に対する思いやご意見を皆さまからお聞かせいただく機会があると幸いです。

私の政治活動報告も、どんな出かけていきますのでよろしくお願いいたします。

県政に対するご意見、ご要望をお聞かせください。



介護・保育職員の働く環境改善を

低い宮崎県の賃金実態のなかで、介護や保育の現場で働く皆さんの平均賃金はその9割の水準と答弁がありました。平均で20万円に届きません。介護職員や保育士の確保のため、修学資金を貸与し、一定期間就労すれば返済が免除される制度創設など取り組みが報告されますが、肝心の給料の改善策は、具体性に欠ける答弁になりました。

私はやりとりの中で「介護プロフェッショナルキャリア段位制度」の普及を求めました。これは介護技術のレベルに応じた段位を認定し、そのことで介護職員の賃金など処遇の改善や、働く意欲向上を図るものです。

厚生労働省も推奨していることから、関係団体と十分に協議していくと前向きな答弁をいただきました。

岩切たつや プロファイル

昭和36年1月 延岡市生まれ
同54年3月 県立延岡高校卒業
同年4月 宮崎県庁入庁
西臼杵支庁福祉課・延岡保健所・東臼杵福祉事務所・延岡児童相談所・北部福祉こどもセンター・児湯福祉事務所などに勤務
在職期間に県庁職員組合委員長を務める。

その他、延岡市立伊形小PTA会長、宮崎県立延岡工業PTA会長など労働運動、地域活動に取り組む。

同27年4月 宮崎県議会議員選挙(宮崎市選挙区) 初当選現在一期目

家族 妻と子ども4人
資格 社会福祉士
宮崎県登録養育里親

- ・ 前厚生常任委員会副委員長
- ・ 現商工建設常任委員会副委員長
- ・ 議会運営委員会委員
- ・ 社民党県連副代表

私の所属する社会民主党の合い言葉は「がんこに平和、げんきに福祉」です。

平和でなければ福祉も教育も実現しないし、福祉のない社会では国民は苦しみのなかでの生活を余儀なくされます。だから憲法は大事。

集団的自衛権の行使容認は憲法違反と訴えてきましたが、ならばと、その憲法そのものを変えようという動きさえあります。

私は、社民党の県議として平和と福祉の充実にこれからも頑張ります。

社民党の党首は「吉田ただと」さん。



委託児童昨年度実績は8減の57!

里親委託等推進員の配置で着実な推進を図ると答弁

私は質問に立つたびに里親制度の充実について質問しています。

昨年度、宮崎県の虐待相談は715件と過去最多を更新。そのなかで昨年度末の里親委託児童数は8減という実績。児相職員は里親委託推進に手が回っていない状況です。そこで、里親養育を推進するという目標にどう対応するのか質問しました。

県は、各児相に2人ずつ「里親委託等推進員」を配置し、委託調整やその後の支援を担当させるなど機能充実したので、施

1年生議員の

議会のい・ろ・は

◆本会議のこと◆



本会議は、知事から提出された議案について、提案理由が説明されることから始まるのが通例です。その議案の内容を含めて、県政全般に対する質疑、質問が議員から行われます。質問は会派の代表が行う『代表質問』と、各議員が行う『一般質問』があり、『代表質問』は9月と2月の議会のみです。会派を代表して行う代表質問は、議員が3人以上の会派しか認められていません。『一人会派』と言ったりしますが、議員には一人で議員活動されている方もいるので、代表という言葉にならないからでしょう。

設などと綿密な連携で里親への児童委託を推進すると回答しました。

里親家庭は12世帯増

新規里親家庭の開拓については、昨年は新たに12世帯が認定を受け、計102世帯になったとのこと。

世の中には想像もつかないような苦難の中で産まれたり、その中で育つ子どもがいます。里親家庭ではそんな子ども達に、少しでも温かい家庭をと、献身的に活動しています。産みの親から離れなければな

一般質問は一人の議員が年二回できることになっていますが、やらない議員もいます。

本会議中にトイレに行きたいというときは、「そっと手を挙げる、立ち上がり、議長に軽く会釈する、トイレに行く。」戻ってきたら「議長に軽く会釈する、座る」という作法らしいです。私は経験がありませんし、一番前の席で、他の議員の様子が見えないので、らしいとしました。知事や部長も同じく、席を立つことが許可されるようですが、今まで見たことはありません。傍聴席は、登壇する議員によっては出身地から大勢の方が来られたりしますが、平均して少ないですね。もっと来てくださるとうれしいのですが。

らなかった子どもにより運命を掴んでもらうよう、里親委託等推進員には活躍してもらいたいものです。

里親の募集推進

お近くに「里親に関心あり」という方はいませんか。私も一人の里親として、里親拡大に尽力したいと思っています。どんな制度なのかなど、お話しさせていただければと思います。

不足する早期療育の場

乳幼児検診などで支援を要する子どもを早期発見し、早期療育を行うことは、その子どもが健やかに生きていくために大事なことだという理解が広がっています。

しかし療育の場が十分に確保されていません。未就学児の療育の場である発達支援センターは定員の150%登録という実態で、年度途中に療育を必要とされた児童は、年度替わりまで何ヶ月も待機させられているとのこと。

定員が小さい児童発達支援事業所は、つぎつぎに利用相談に来られる状況に対応できず、心を痛めていらっしやいました。就学年齢になると放課後等デイサービス事業所が用意されていますが、それぞれの事業所が小規模な故に、運営には大変ご苦労されています。

〈6月議会の議案〉

- ◆一般会計補正予算 28億5,180万3千円
 - ◆国の法律等の変更 8本
 - ◆その他の条例改正 1本
 - ◆農村振興長期計画など2本の長期計画
 - ◆震災による追加補正 8億6,000万円
- ・震災による追加補正は、県内の旅館ホテルなどで多くの宿泊キャンセルが発生したことから、九州各県が一体となって、キャンペーンを行い、宿泊割引クーポンを発行するなど、観光産業を支援する事業予算です。

すべての子どもに家庭を



〈日常活動スナップ〉



↑視察(九保大研究室)



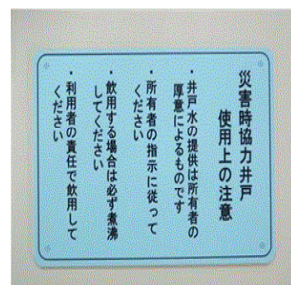
街頭宣伝活動→

災害時井戸の災害時の利用について

・6月議会では、熊本震災を受けて、防災・減災に関する議論が活発に行われました。

・私は、災害時協力井戸について質問。答弁は、「洪水、津波などでは、当然水質に変化がある。地震でも地質の変化を考えると、飲み水に使うときには、必ず煮沸するなど、注意が必要。」とのことでした。

・日頃の訓練と準備が欠かせないですね。



宮崎市の災害時協力井戸表示